

駅東西自由通路調査事業に意見付す



JR花巻駅東西自由通路(駅橋上化)により駅西口の整備も視野に調査事業が進められる(写真:花巻駅西口)

令和3年第2回定例会は6月17日開会、7月1日まで15日間の会期で開かれました。一般質問は6月21日から23日まで3日間、12人の議員が登壇し市の考えをたどりました。また、24日は議案を審議。35議案を原案のとおり可決・同意しました。このうち、一般会計補正予算に対して附帯決議を求める動議が提出され、これを直ちに審議。賛成多数で附帯決議案を可決しました。また、7月1日の最終日に議案2件が提案され、いずれも原案のとおり可決したほか、常任委員会および議員発議による意見書案3件を賛成多数で可決しました。

令和3年度一般会計補正予算(第4号)は、全会一致で原案のとおり可決されましたが、同補正予算に対して附帯決議がなされました。

附帯決議は、JR花巻駅東西自由通路(駅橋上化)整備事業に係る調査事業に対するもので、調

査結果の説明や公表、市民参画への配慮、事業費圧縮に努めることなどを求める内容となっています。(次ページ参照)

令和元年度当初予算の第三セクター出資金についても附帯決議が行われ、今回で2回目となります。

議案第70号令和3年度花巻市一般会計補正予算(第4号)に対する附帯決議

令和3年度花巻市一般会計補正予算(第4号)歳出中、8款土木費、4項都市計画費、1目都市計画総務費において、都市再生推進事業費として26,032千円の予算が計上された。

この予算は、本年3月の市議会において、令和3年度花巻市一般会計予算に花巻駅東西自由通路整備基本計画追加調査業務を含む測量調査等業務委託料として同額が計上されたが、自由通路整備についてはより多くの市民からの意見聴取や市民参画が必要であり、また事業費が多額と予想されること、将来の維持管理費等が市の財政を圧迫する懸念があるのではないかなどことから削除された予算である。

その後、花巻商工会議所をはじめ市内の各種団体より自由通路整備促進の要望書が出されており、市民の関心も高くなってきている。

しかしながら、いまだ市民にとっては、花巻駅東西自由通路整備事業について、事業費や計画概要などで、不明な点があるとの声が寄せられている。

よって、以下の点を踏まえて事業執行に当たって頂きたい。

- 1 花巻駅利用者を含め、より多くの市民の意見聴取を図りながら調査実施に努めること。
- 2 調査結果は速やかに市民及び議会に公表し、事業実施の際は市民参画を図りながら進めること。
- 3 JR東日本との協議においては、応分の負担を強く求める等、事業費の圧縮に努めること。

【附帯決議に反対討論】

大原 健 議員

市が調査事業に着手し、ある程度形にしてから市民に提示し、市民の意見を聞いてよりよいものに作り上げるといふことが必要ではないか。また、JRから整備費用の縮減案を出せる可能性が高いと説明を受けているのであれば、あえて意見を付す必要はないのではないか。

【附帯決議に賛成討論】

本館憲一 議員

この調査事業が終了するまでの間、当局は大迫・石鳥谷・東和地域を含めより広い範囲で現状や考えを説明し、市民の意見を聞くべきである。

また、JRとの協定締結にあたって、積算根拠の明確化と事業費圧縮に対する申し入れをし、調査終了後においても協議に応じることができるよう提示することが必要であると考える。

櫻井 肇 議員

JR花巻駅東西自由通路(駅橋上化)整備に関する情報等が、市民に十分浸透していないと思われる。説明が無いまま、市民の負担が大きい事業が進められていくということは、市民を置き去りにすることに於ては、市民を置き去りにすることになる。

また、附帯決議の3項目は、公共事業を行う場合に重要な観点であると考えられる。



朝の通学時に多くの高校生でにぎわうJR花巻駅